令和８年８月定例会議事録

令和８年８月10日

鹿屋市教育委員会

○日　時　令和８年８月10日（月）
　　16時から17時00分まで

○場　所　教育長室

○出席者

教育長	中　野　健　作
教育長職務代理者	遠　矢　達　一
教育委員	浜　田　幸　史
教育委員	四郎園　佳　恵
教育委員	前　田　あ　ゆ

○関係者

教育部長	隈　元　成　人
教育総務課長	曽　原　　学
学校教育課長	小　野　武　利
生涯学習課長	口ノ町　　亨
教育総務課長補佐	中　村　尚　子

○議事日程

１　開会

２　前回議事録の承認

３　教育長及び委員の報告

４　議事
　なし

５　報告
(1) 鹿屋市特別支援教育サマーセミナーについて

(2) かのや未来創造プログラム～平和の花束2026～について

(3) 令和９年３月市内中学生卒業予定者の進路希望調査について

(4) 小中学校部活動等成績結果（九州大会以上）について

(5) 鹿屋市子ども会リーダー研修「かのやっ子わくわくアドベンチャーinこしきしま」について

(6) 第８回鹿屋市高校生ビブリオバトル大会について

６　動議の討論等

７　その他(お知らせ)
・不登校児童生徒支援フォーラムin鹿屋について
・授業力アップセミナーin鹿屋について
・令和８年度鹿屋看護専門学校要覧について（配布）

８　閉会

○議決事項

議案番号	件　　名	審議の状況	採決次第
	（今回はなし）		

○議事要旨

1	開　　会
教育長	皆さんこんにちは。 熊本地震で被災された方々が大変な状況の中、空調のない中で頑張っていらっしゃいます。本教育委員会職員からも和田主査が業務支援のため派遣され無事に帰任しました。 多くの方々がボランティアとして復旧・復興支援にあたられています。早く電力供給が再開され、空調設備が使用できるようになると良いと感じております。 鹿屋市でも、本年度、一次避難所に指定されている吾平小学校の体育館への空調設置を計画しており、しっかりと対応してまいります。 さて、平和の花束について後程、報告がありますが、無事に終えることができました。 鹿屋市としても、教育委員会としても、やっぱり大事な鹿屋市の役割、使命をきちっと捉えた、取組であると再認識しました。多くの方々へ感謝したいと思います。
2	前回の議事録の承認
四郎園委員	10ページのウォーターサーバーの話をした箇所について、前田委員の発言と記載されているが、私の発言であるため修正をお願いしたい。
教育長	10ページの発言者について修正する。
3	教育長及び委員の報告
遠矢委員	７月29日、市町村教育委員会委員研修会に参加した。鹿児島県からは「こども性暴力防止法」について、「学校における業務改善の推進」について、「公立小中学校の施設整備」について、説明があった。 こども性暴力防止法については、教職員への研修を12月25日までに実施してほしいとの依頼があったところである。 講演は、「子供のインターネット利用の現状と課題、対策」という内容であった。携帯電話を所持する子供が、小学校で27.3%、中学校で、68.8%。高校になると98.3%と、ほぼ100%の子供たちが所持している。そのうちＳＮＳを利用する小学生が、40.9%。中学校は91.8%。ほとんどの子供たちがインターネットをしている現状であるとのことであった。

	インターネット利用についての影響やその対策については、県の教育ＤＸ推進室で、出前授業をし、啓発を行っているとのことである。
教育長	先月29日の研修会の報告をいただきました。ＳＮＳの適切な利用について、相当真剣にやっていかないといけません。
浜田委員	鹿屋市が作成している児童生徒不登校支援のリーフレットを、鹿児島県教員採用試験の、二次試験受験者の指導用教材として活用させてもらっている。非常にわかりやすい内容で、不登校児童生徒へのアプローチ、支援の流れが、学生にとっても、教材としても有効であると感じた。 先週は、岐阜聖徳学園大学で、保健体育教員を目指す学生への授業をした。そこでも鹿屋市のリーフレットを活用させてもらった。スライドで見せながら説明し、学生同士で討議する形式であったが、理解がとても良かった。いろんな形で鹿屋市のものが活用できると思ったところである。 鹿屋市が紙媒体で提供するものが、一般の方にも、いろんなことを認知してもらったり、理解してもらったりするのに有効であると改めて認識したところである。
前田委員	山口県で開催された、教育の先を探求し創造するという内容の研修に参加した。主に探究学習の高校改革のこと、ＡＩと人間というテーマで、山口県内の教育委員会の委員の方々や高校の先生が多く参加していた。 高校での探求の学習に関して、様々な課題が出てきており、現場が大変であるとのことであった。また、高校では、普通科のあり方がテーマとなっており、地方独自の高校改革について、文科省の石田恵美子氏が熱弁されていた。 今、いろいろと変わっていかなければならない時代にあるのだと感じた。ＡＩに奪われない仕事の共通点や、先生たちに求められることなどがいろいろ出ていた。私自身、とても勉強になる研修であった。
教育長	高校の方から先に始まった探求について、新しい学習指導要領では小中学校にもおりてくるようです。総合的な学習の時間がこれに組み替えられ、探求的な学習をやっていくことが、自主性とか、学び方を学ぶのでいいということであります。 各教科の時間でも、探究的に教科の進め方をやるといったような方向でもまた新しい学習指導要領が進んでいきます。我々も勉強をして

	いかないといけないと思います。
遠矢委員	大学入試は探究のような入試なのか。
教育長	探求のような学習を通して培った能力を入試においてどう計れるかという大学側の工夫が求められているということになります。単にペーパー上のことではなく、論文にしたり、それから今度は面接の中でそういったのを聞いたりしてやっていくというようなものです。
浜田委員	現在の総合的な学習、探求の時間が、これまで自己推薦入試といっていた大学の総合型選抜入試でも、そのまま測られるようなものである。鹿屋女子高校は取組が充実しているので、有利になると思う。自分で書く書類にも、探求の時間にどんなことをしてきたかを書き、それをもとに口頭試問なり面接をする、ということに今後なっていくということでも方向性が出ており、それに合わせて各大学が今、新しい入試の内容を作ろうとしているところである。
遠矢委員	推薦枠みたいなのが増えるということになるのか。
浜田委員	おそらく、ほとんどの大学で自己推薦入試が増え、その分、一般入試を減らすことになろうかと思う。入試日程も早くなっている。その方が生徒も学校も保護者も嬉しいというところである。
教育長	９月入学には大学は到底まだ行き着きそうにないわけですね。
浜田委員	そうである。
４	議事
教育長	議案がないので、議事はないものとする。
５	報告
	(1) 鹿屋市特別支援教育サマーセミナーについて
学校教育課長	資料に基づき説明
教育長	特別支援教育はやはり、全国的にも鹿屋市としてもいろいろな課題があり、質の向上を図っていく必要があります。特に今回は、瀬戸口先

	生が元南九州大学教授いうことで、とてもいい講演をまたしてくださったと報告を受けたところでした。 **(2) かのや未来創造プログラム～平和の花束2026～について**
学校教育課長	資料に基づき説明
教育長	多くの人にやっぱり聞いていただきたい。リナシティの400名の席が、結構埋まったように見えていたのでよかったと思いましたが、説明にあったように260名ぐらいの参加でした。もう少し参加者がいたらと思います。我々のアピールの問題でしょうからしっかりやっていきたいです。内容については、今年もよかったなと思ったところです。 **(3) 令和９年３月市内中学生卒業予定者進路希望調査について**
学校教育課長	資料に基づき説明
教育長	一覧表をご覧ください。今年は珍しく中学生が増えた年で、学年の数が微々たるものですが２、30名程度、増えたところです。その中で、こういった状況でした。
学校教育課長	補足すると、現段階での鹿屋女子高希望者数につきまして、普通科が32名、0.8倍。商業科が49名で、0.61倍。家庭科が72名で0.9倍という状況です。
教育長	昨年は商業科が0.5を下回り、つまり半分が入学しなかったので、課題でしたけれども、来年は２学級で出発できるなと思っています。中３の女子生徒が増えている中で、総数として、昨年の鹿屋女子高の希望者が、この時点で152名ぐらいでした。今年は150名ぐらいで、あまり人数が変わっていません。 アピールをしっかりしていかないといけない、そういったことを反省として持っているところであります。
学校教育課長	先日の学校見学には200名ぐらい来ていますが、進路希望の方に繋がっていない状況です。キッズチャレンジフェスタの様子を見に行き、手伝いに来ていた中学生に聞いたら、女子高に行きますと話していましたが、市外の志布志などの中学生でした。

教育長	進路に関する指導は、学校はそれぞれの実情で勧めやすいのですが、教育委員会では、なかなかできないところですので、良い点のアピールとか、実際の充実とか、こういったところに力を入れざるをえないところはあります。何とか今年も、よその学校からすると、人気はあると感じてはいますが、まだまだだなとも思います。 **(4) 小中学校部活動成績（九州大会以上）について**
学校教育課長	資料に基づき説明
浜田委員	鹿屋市は、他の自治体に比べて、いろいろ取り組んでおり、認知してもらう、理解を広めるといった活動を地道にしていくのが、大切だと思う。
教育長	今日も肝属地区の中学生で作っている女子バレーチームが、県大会で優勝して、９月に和歌山の全国大会に行くと、ベスト８を狙いますという報告を聞きました。子供たちは頑張っているようです。市民にとっても、そのような活躍は、勇気づけられ、嬉しいことと思っています。 **(5) 鹿屋市子ども会リーダー研修「かのやっ子わくわくinこしきしま」について**
生涯学習課長	資料に基づき説明
遠矢委員	天気はどうだったか。
生涯学習課長	ずっと晴れでした。
遠矢委員	塩づくりには最適でしたね。
教育長	天気が良かったとのことであるが、具合が悪くなった子供たちはいなかったか。
生涯学習課長	小さな傷はあったりしましたが、熱中症で体調が悪くなる子はいなかったということでした。船に乗り慣れないため、船酔いになった子たちはいました。
遠矢委員	それは島に行く舟での船酔いですか。

生涯学習課長	そうです。
教育長	活動途中でリタイアした子供はいなかったか。
生涯教育課長	１人コロナの疑いがあり、途中で帰っております。
教育長	やはり、冬に限らずコロナはいつ発症するかわからないですね。でも、いい経験をしてきたように思います。もう１つ、キャンプの報告がありますか。
生涯学習課長	おおすみくん家での活動ですが、次回に報告いたします。
教育長	最近では珍しい６泊７日です。
生涯学習課長	県内では一番長く、30人の子供たちが参加をしてくれました。全部野外炊事です。
教育長	今どき珍しいキャンプをやっていますね。
生涯学習課長	万滝にも登っています。
教育長	リーダー研修は、甑島での活動は今年で２年目ですね。１回目よりもずいぶんスムーズに実施できたようです。
	(6) 第８回鹿屋市高校生ビブリオバトル大会について
生涯学習課長	資料に基づき説明
遠矢委員	発表者の募集の方法、告知の方法は、どのようにしているのか。
生涯学習課長	ホームページはもちろんですが、市内の学校にはすべてポスターとチラシを配布し、声掛けしました。
遠矢委員	小中学校へは。
生涯学習課長	バトラーについては高校生だけです。参観者、観戦者については、どの講習も呼びかけをしております。

教育長	高校生に限定する理由があるか。
生涯学習課長	小学生でもやっているところもあったりします。
教育長	昨年多かったにしても 10 名いるかいないかである。とてもいいイベントなので、中学生部門など、対象者を拡大し、多くの人の参加を得られるような、工夫を考えてみたら良さそうです。
生涯学習課長	出場できる枠を拡大するようなイメージで考えたいと思います。
教育長	発表時間の５分は短いというのであれば、６分、７分にするなど、今後のことですが、いろいろな工夫をすれば、とてもいい取り組みだと思います。
６	動議の討論
教育長	発言がないので、動議はないものとする。
７	その他
学校教育課長	**(1) お知らせ** ・不登校児童生徒支援フォーラムin鹿屋について 口頭で説明 ・授業力アップセミナーin鹿屋について
学校教育課長	口頭で説明
遠矢委員	授業力アップセミナーは、先生でなくても誰でも参加できるか。
学校教育課長	はい。どなたもぜひお越しください。
教育長	全日程参加しなくても、この講師の先生の話を聞きたいとか、学校の実践を聞きたいとかそれだけでもありがたいと思います。
学校教育課長	先ほど探求の話が出ましたけど、鹿屋小の上園先生が探究で総合的な学習を行っておりますので、その実践発表になります。寿小の福元先生は、算数を中心として学級づくりの方に授業を生かしているという

学校教育課長 教育長	内容の実践発表だと思います。鹿屋中の中溝先生は、国語をきちんと教えているという内容の実践発表になります。 ・令和８年度鹿屋看護専門学校学校要覧について（配布） 口頭で説明 次回の定例教育委員会は、令和８年９月10日（木）15時から教育長室で行う。
８	閉会
教育長	以上をもって８月定例教育委員会を閉会する。 以上